

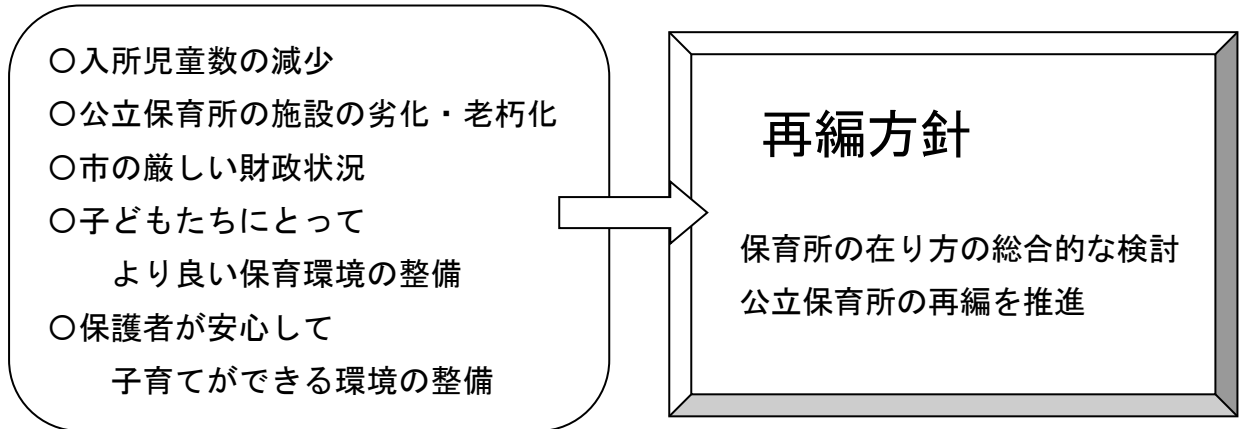
銚子市公立保育所再編方針（案） 概要（説明会用）

この資料は、
公立保育所再編方針案を説明会用に作成したものです。
詳細は、再編方針（案）をご覧ください。

令和2年1月
銚子市 子育て支援課

銚子市公立保育所再編方針

I 公立保育所再編方針策定の背景



II 全国及び千葉県の保育所の状況

1 全国

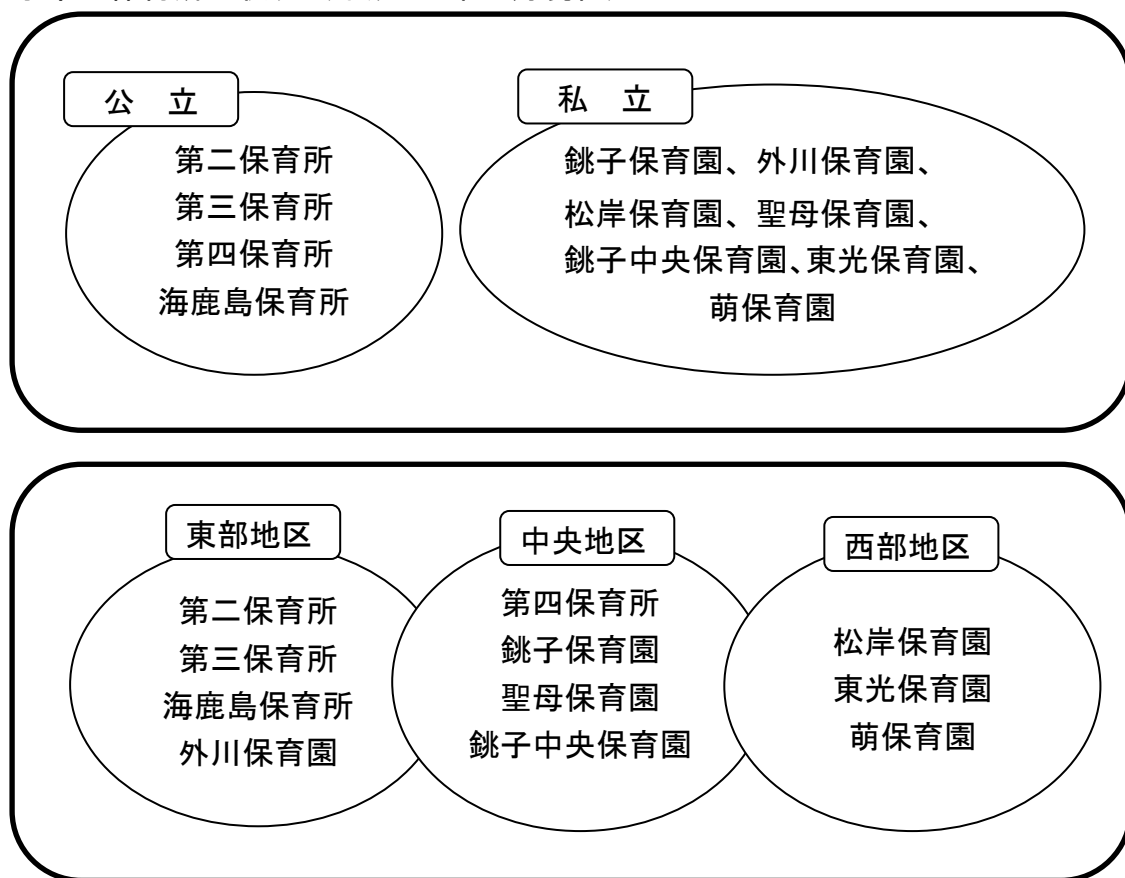
	H22.4	H29.4	増減	増減率
保育所数	23,068 か所	27,029 か所	+3,961 か所	+17.2%
定員	215 万 8 千人	263 万 2 千人	+47 万 4 千人	+22.0%
利用児童数	208 万人	245 万 9 千人	+37 万 9 千人	+18.2%
公立：私立	45.6：54.4	32.1：67.9	—	—

2 千葉県

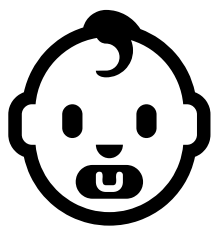
	H22.4	H29.4	増減	増減率
保育所数	737 か所	971 か所	+234 か所	+31.8%
定員	74,229 人	94,174 人	+19,945 人	+26.9%
利用児童数	72,594 人	90,047 人	+17,453 人	+24.0%
公立：私立	60.9：39.1	40.0：60.0	—	—

Ⅲ 銚子市の保育所及び小学校就学前児童の状況等

1 銚子市の保育所の状況（平成31年4月現在）



2 銚子市の小学校就学前児童数の状況



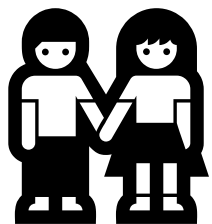
0歳児

9年間で

▲121人

▲36.3%

平成22年（4月1日現在）333人 ⇒ 平成31年 212人



0歳児から5歳児

9年間で

▲835人

▲35.2%

平成22年 2,375人 ⇒ 平成31年 1,540人
令和6年度 1,109人（見込み）

3 銚子市の保育所入所児童数の推移

	H 2 2	H 3 1	増減	増減率
入所児童数	960 人	888 人	▲72 人	▲7.5%
定員総数	1,070 人	920 人	▲150 人	▲14.0%

※最近では低年齢児が占める割合が若干増加

※**公立保育所は、定員割れ**

4 銚子市の保育所入所率の推移

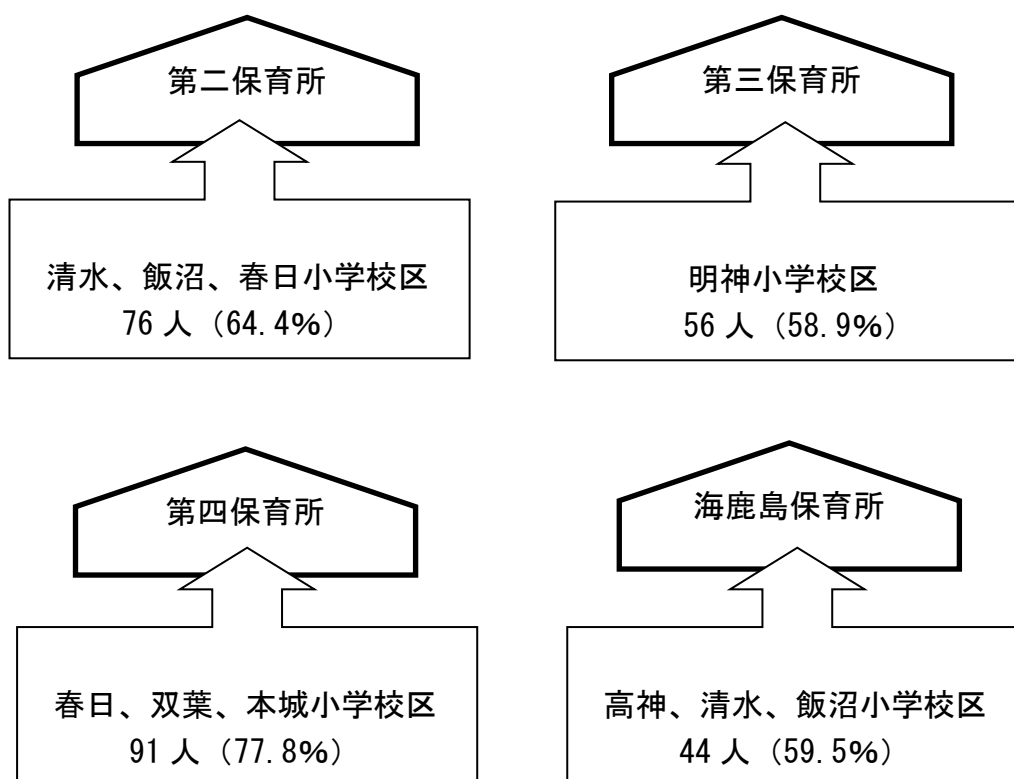
公立保育所の入所率

平成 22 年 83.3% ⇒ **平成 31 年 87.8%**

私立保育園の入所率は、

平成 22 年 97.0% ⇒ **平成 31 年 105.2%**

5 公立保育所入所児童の居住地別在籍状況（平成 31 年 3 月 1 日現在）



IV 今後の保育所の方向性

1 公立保育所の機能・役割

- ① セーフティーネットとしての役割
- ② 地域における子育て支援の拠点機能
- ③ 関係機関との連携
- ④ 配慮を必要とする児童の受入れ
- ⑤ 人材育成の場

2 私立保育所

- 市全体の保育に私立保育所は不可欠な存在
- 多種多様な要望・サービスに対する柔軟性、意思決定の迅速性
- 保育の選択肢の維持・拡大
- 民間だからできる独自の保育内容を展開
- 公民相互に連携、協力し、保育需要に対応

V 公立保育所の再編について

1 公立保育所の再編の必要性

① 入所対象児童数の減少

- ・市の人口減少＝保育所入所対象児童数も減少
- ・公立保育所は、継続的に定員割れ

② 民間活力の活用

- ・私立保育所による保育の提供を維持、安定
- ・ひいては行政サービスの効率化

③ 施設の劣化・老朽化に伴う維持改修経費の負担

- ・公立保育所は、いずれも劣化・老朽化が進行
- ・全ての施設の維持、改修していくことは不可能
- ・施設の集約化による効率的な施設改修 ⇒ 保育環境を整備

④ 保育士の状況

- ・保育士の正規率の向上
 - ⇒ 特別な支援を要する児童への対応拡充
 - ⇒ 子育て支援の多様なニーズへの対応に振り向け

2 公立保育所再編（統廃合）対象施設の検討項目

① 入所率の状況

② 入所児童の適正規模

③ 入所児童の居住地の重複

④ 建物の状況

⑤ 周辺道路の状況

⑥ 他施設との距離

⑦ 他保育所等への転所

3 公立保育所再編（統廃合）対象施設

○公立保育所の中で、最も西に位置している第四保育所は存続

⇒東部地区に集中している3施設を

(第二保育所、第三保育所、海鹿島保育所)を1か所に集約する検討。

【東部地区に位置する3保育所の状況】

	第二保育所	第三保育所	海鹿島保育所
入所率の状況	定員割れ H31.3 現在 118/150 人	定員割れ H31.3 現在 95/120 人	定員超 H31.3 現在 74/70 人 (H28 年度定員削減)
入所児童の適正規模	定員 150 人 受入可 (約 30 人)	定員 120 人 受入可 (約 25 人)	定員 70 人 受入不可
入所児童の居住地の重複	清水小学校区で 海鹿島保育所と重複		清水小学校区で 第二保育所と重複 高神小学校区で 民間保育所と重複
建物の状況	鉄筋コンクリート2階建 築後33年 延床面積 1,396.63 m ²	鉄筋コンクリート平屋建 築後28年 延床面積 1,050.07 m ²	木造平屋建 築後51年 延床面積 439.10 m ²
周辺道路の状況	送迎用駐車スペースなし 周回道路なし 周辺は狭隘道路	送迎用駐車スペースなし	数台の送迎用駐車スペースあり 周回道路なし 周辺は狭隘道路
他施設との距離	第三保育所約 1.6 km 第四保育所約 2.4 km 海鹿島保育所約 2.7 km 銚子幼稚園約 1.7km 銚子保育園約 2.0 km	第二保育所約 1.6 km 海鹿島保育所約 2.3 km 銚子幼稚園約 3.1 km 飯沼幼稚園約 3.5 km	第三保育所約 2.3 km 第二保育所約 2.7 km 飯沼幼稚園約 2.0 km 外川保育園約 3.2 km
他保育所等への転	影響 (大) 入所児童数最多 地元清水・飯沼小学校区 の児童が約 5 割を占める。	影響 (中) 地元清水小学校区の児童 が約 6 割を占める。	影響 (中) 入所児童数最少 地元清水・高神小学校区 の児童が 5 割弱を占める。
その他			公設民営 (指定管理者制度)

【東部地区に位置する3保育所のうち存続させる施設】

定員数が大きい施設を存続することで…

- 公立を選択する保護者の希望に、より広く対応
- 閉所する施設の児童の受け皿
- 再編が完了した後、施設の余裕スペース等を活用した特別保育の実施の検討が可能

※定員数のより大きい第二保育所を存続

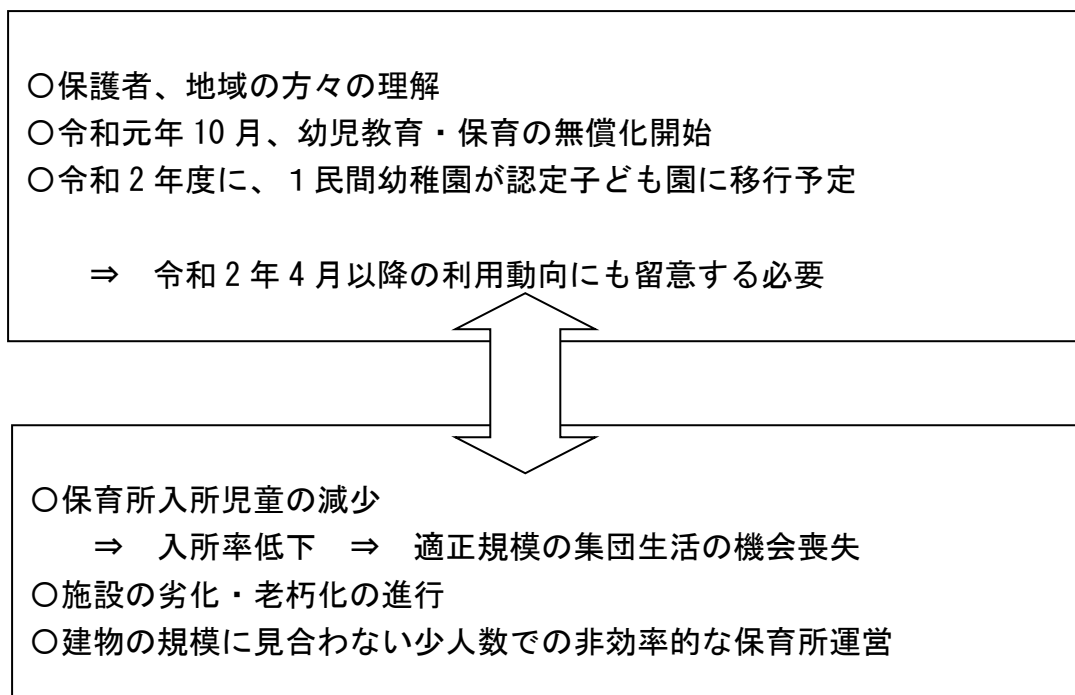
- 保護者の入所希望に対する影響は、より小さくなる。
- 第二保育所が、市の中央部以西の児童の受け皿となっている実態。

※東部地区に位置する3保育所のうち
第二保育所を存続させることが、
再編の影響を最も小さくする。

【統廃合の基本方針】

- ※第二保育所・第四保育所を存続させ2所体制
- ※第三保育所・海鹿島保育所は閉所することを基本方針とします。

4 公立保育所再編（統廃合）の実施時期等



※保育所の再編は、児童や保護者、地域に影響を与えることは不可避ですが、その影響に十分配慮しながらも、能動的に、可能な限り早期に行うべきであると考えます。

再編は、段階的に（2段階で）

- ① 定員数が最も小さい海鹿島保育所を先行して閉所
- ② その2年後を目途に、第三保育所の閉所を検討

※ただし、児童数の減少推移を注視しながら、状況によりスケジュールの見直しが必要な場合も考えられます。

再編の時期は・・・

①海鹿島保育所は、
令和4年度末（令和5年3月31日）に閉所

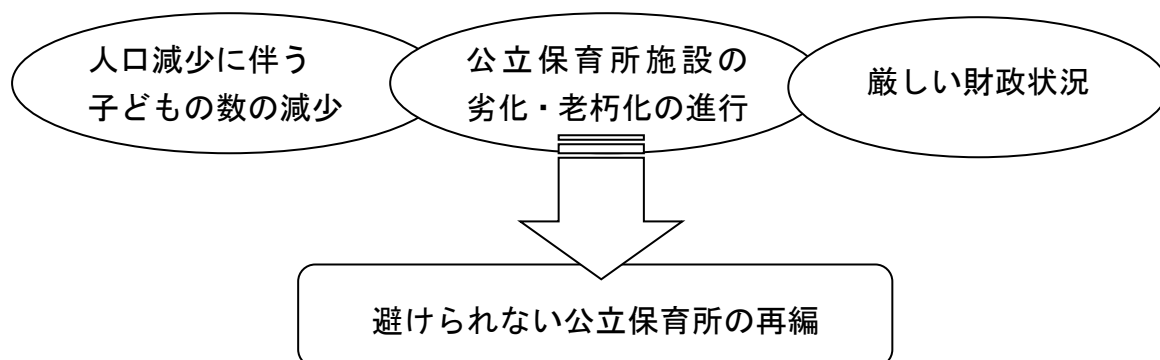
令和2年度入所の3歳児 ⇒ 3年間（令和4年度末）で卒所

令和2年度入所の0歳児 ⇒ 3歳児クラス（2号認定）に移行。

※海鹿島保育所の指定管理者との協議・調整が必要

②第三保育所は、
令和6年度末（令和7年3月31日）を目途
に閉所を検討

VI まとめ



○適正規模による効率的な保育所運営

○再編により生じる人的資源を、特別な支援を要する児童への対応拡充などに振り向け

※再編は、子どもたちや保護者、地域に様々な影響を与えるため、その影響に十分配慮しながら進めていきます。

ご理解をお願いします。